

## 学校関係者評価報告書

評価委員長：（ 神田 基史 ）

評価期日：令和3年3月2日

### 1 統括的意見

重点項目	具体的なご意見
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の対応に追われ、実質的な研究を進めることは難しかったが、児童の評価アンケートでは「説明や指示が分かる 93%」「授業は楽しくできた 89%」と評価が高く、教員各自の授業力の向上への努力が窺える。</li> <li>・外部講師を招聘した校内研修会は貴重な研修の機会となった。</li> </ul>
豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎改修の途上で運動や遊びの空間を確保することが難しく、児童の抱えるストレスが大きかったと思われるが、SCによる5年生の全員アンケートやいじめの早期発見解決に向けた児童アンケートを実施し対応に努めた。</li> </ul>
組織力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務分掌システムC4thによる情報発信、職員会議における電子データの活用は進んでおり、働き方改革につながるよう努めてほしい。</li> <li>・今年度、コロナ禍において未実施だった教育活動について、実施を前提に現実的な対応も考慮してほしい。</li> </ul>
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、学校支援地域本部、AC(英語学習のためのボランティア)、図書ボランティア、読み聞かせボランティア、バリアフリーパートナーなどとの連携に努め、効果的な教育活動を展開していく。</li> <li>・毎日の校長日記は好評で良かった。</li> </ul>
教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は学務課へ意見書を1通提出した。新校舎完成まで引き続き、安全な工事進行となるよう、監視・進言していく。</li> </ul>

### 2 全校で共有できる意見がありましたら、お書きください。

#### (1) 肯定的意見(2つ程度まで)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、教職員も疲弊している状況で児童の健康・安全を維持しながら教育活動を進められたことは、十分評価できる。</li> </ul>

#### (2) 改善に向けた意見(2つ程度まで)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎での学校生活が始まったが、校庭が使えない状況に加えてコロナ禍における自粛生活が2年間続き、児童のストレスも相当たまっている。休み時間に体育館やプール広場など遊び場を確保し、密になることを回避できる環境づくりに継続して取り組んでいく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における公開授業の工夫について、前向きに検討してほしい。</li> </ul>